

2012年度
第3四半期決算
Conference Call

2013年2月6日
日本新薬株式会社



業績の状況（連結）

(百万円)

	2011年度		2012年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績	対前年同期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	50,423	100.0%	51,514	100.0%	1,090	2.2%
営業利益	5,200	10.3%	5,361	10.4%	161	3.1%
経常利益	5,336	10.6%	5,698	11.1%	361	6.8%
四半期純利益	3,081	6.1%	3,557	6.9%	476	15.5%



医薬品売上の内訳

(百万円)

	2011年度		2012年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	40,596	97.9%	41,945	98.3%	1,348	3.3%
工業所有権等収益	92	0.2%	94	0.2%	2	2.5%
フルリフロキサシン原薬	642	1.6%	507	1.2%	△ 135	△21.1%
受託製造	141	0.3%	121	0.3%	△ 19	△13.9%
医薬品合計	41,473	100.0%	42,668	100.0%	1,195	2.9%

・ビダーザ(+2,012百万円、+61.7%)
(骨髄異形成症候群治療剤)

・ルナベル(+903百万円、+31.8%)
(月経困難症治療剤)

・アドシルカ(+610百万円、+74.9%)
(肺動脈性肺高血圧症治療剤)

等の伸長

・ハイペン(△805百万円、△ 23.4%)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)

・エビプロスタット(△606百万円、△13.2%)
(前立腺肥大症治療剤)

等の減少



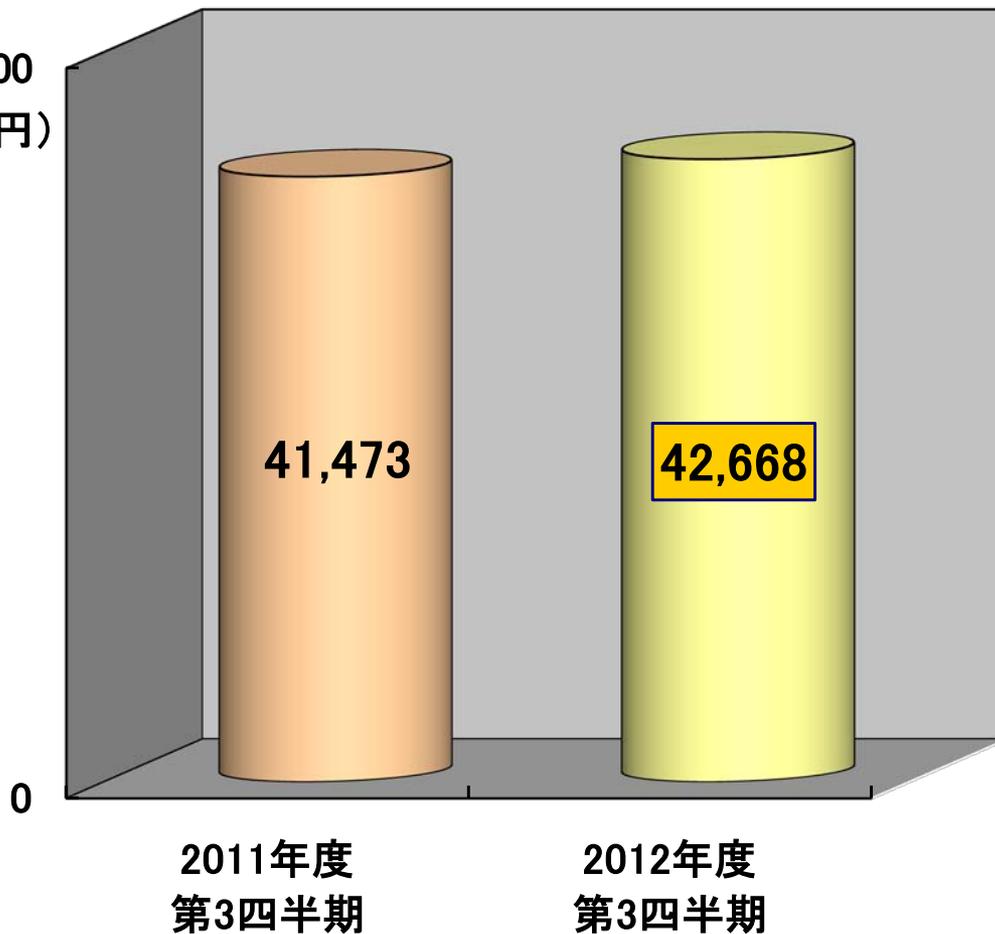
部門別業績推移 医薬品

実績 42,668百万円

対前年同期比

+ 1,195百万円(+ 2.9%)

50,000
(百万円)





機能食品売上の内訳

(百万円)

	2011年度		2012年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	660	7.4%	592	6.7%	△ 67	△10.3%
品質安定保存剤	1,216	13.6%	1,305	14.8%	88	7.3%
たん白製剤	4,555	50.9%	4,500	50.9%	△ 54	△1.2%
ニュートリション素材	1,317	14.7%	1,335	15.1%	17	1.3%
その他	1,202	13.4%	1,113	12.5%	△ 89	△7.4%
機能食品合計	8,950	100.0%	8,845	100.0%	△ 105	△1.2%



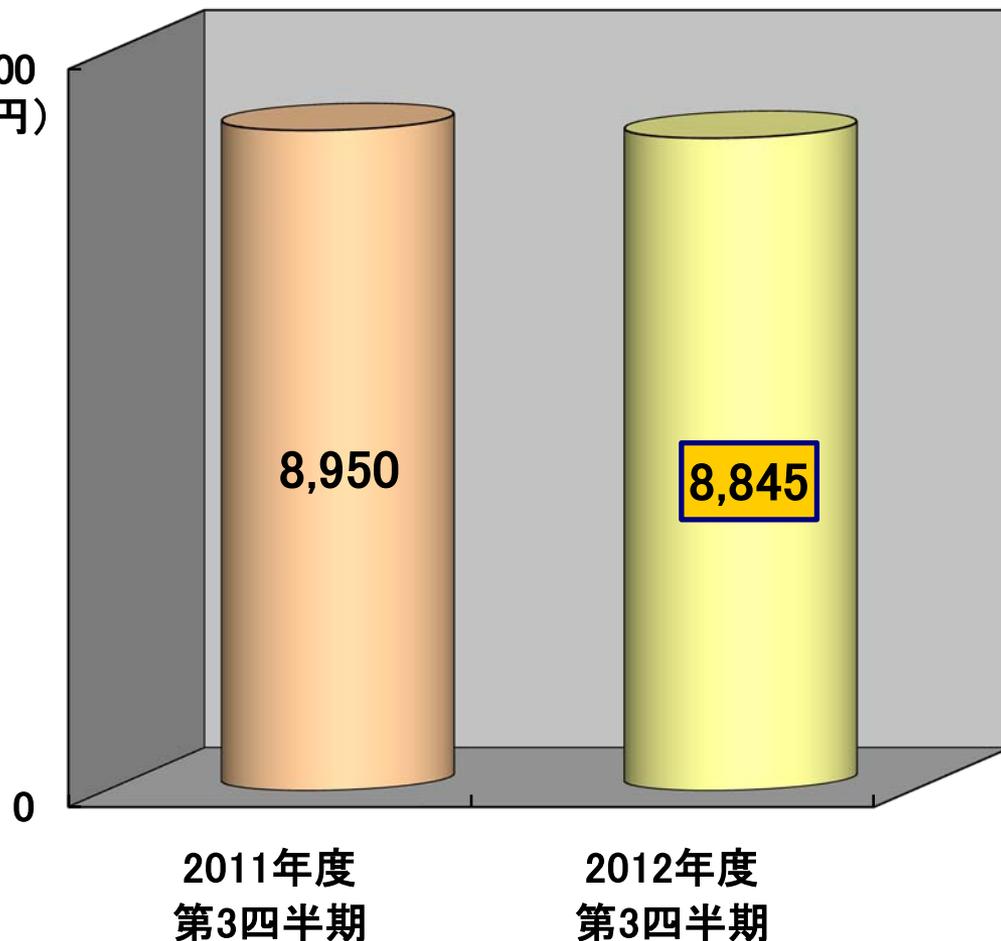
部門別業績推移 機能食品

実績 8,845百万円

対前年同期比

△105百万円(△1.2%)

10,000
(百万円)



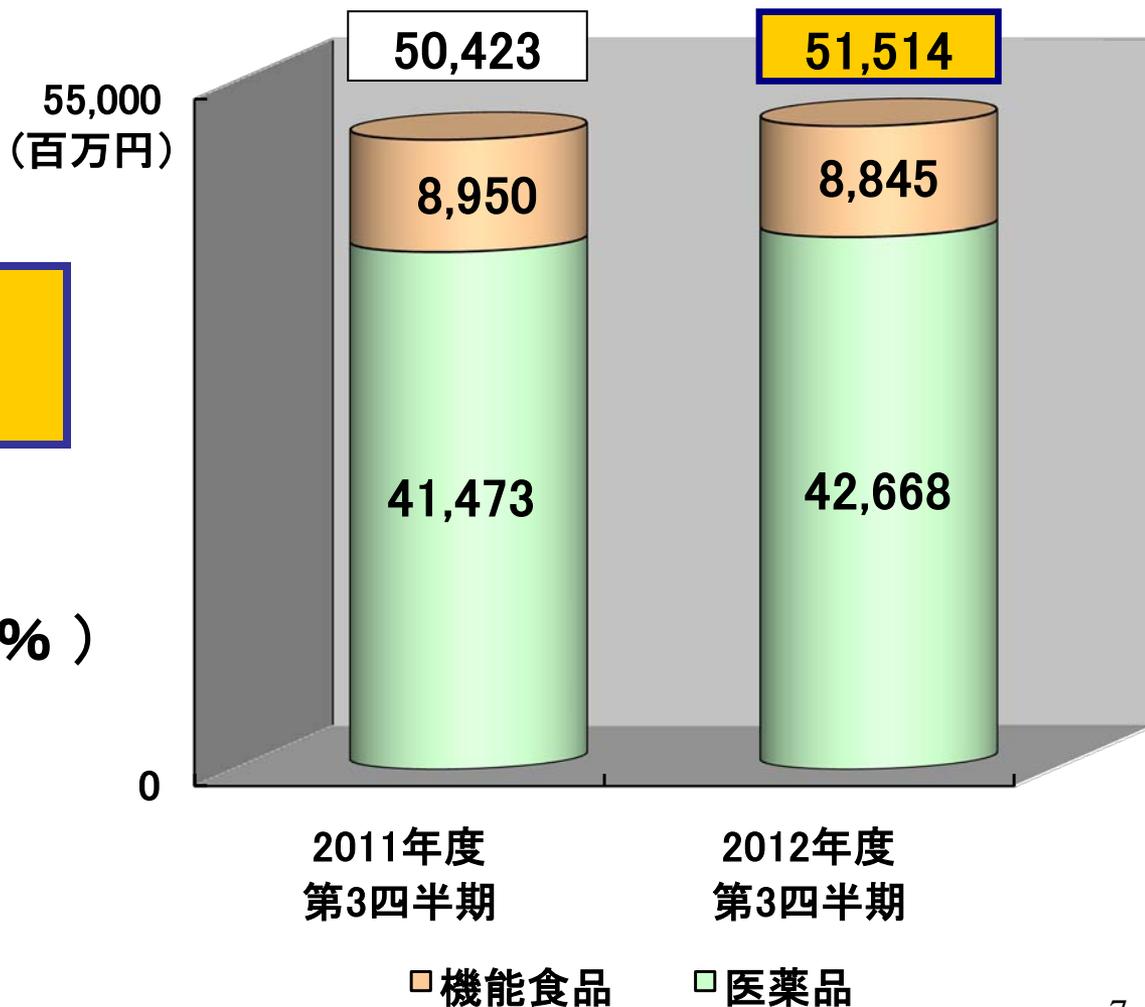


業績推移(連結)売上高

実績 51,514百万円

対前年同期比

+1,090百万円(+2.2%)





損益計算書（連結）①

（百万円）

	2011年度		2012年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	50,423	100.0%	51,514	100.0%	1,090	2.2%
（医薬品）	(41,473)	(82.2%)	(42,668)	(82.8%)	(1,195)	(2.9%)
（機能食品）	(8,950)	(17.8%)	(8,845)	(17.2%)	(△ 105)	(△ 1.2%)
営業費用	45,223	89.7%	46,152	89.6%	928	2.1%
売上原価	24,152	47.9%	25,471	49.4%	1,318	
販売費及び一般管理費	14,215	28.2%	14,270	27.8%	54	
研究開発費	6,855	13.6%	6,411	12.4%	△ 444	
営業利益	5,200	10.3%	5,361	10.4%	161	3.1%



損益計算書（連結）②

（百万円）

	2011年度		2012年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績	対前年同期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	5,200	10.3%	5,361	10.4%	161	3.1%
営業外収益	624	1.2%	714	1.4%	90	14.4%
営業外費用	488	1.0%	378	0.7%	△ 110	△22.5%
経常利益	5,336	10.6%	5,698	11.1%	361	6.8%
法人税等	2,239	4.5%	2,127	4.2%	△ 111	△5.0%
四半期純利益	3,081	6.1%	3,557	6.9%	476	15.5%



財政状況（連結）

(百万円)

	2011年度	2012年度			2011年度	2012年度	
	期末実績	第3四半期実績	増減		期末実績	第3四半期実績	増減
資産の部	106,304	107,687	1,383	負債の部	21,738	21,032	△ 705
（流動資産）	66,333	68,191	1,858	（流動負債）	13,961	13,231	△ 729
（固定資産）	39,971	39,496	△ 475	（固定負債）	7,776	7,801	24
				純資産の部	84,566	86,655	2,088
合計	106,304	107,687	1,383	合計	106,304	107,687	1,383

(増加)

資産の部 : 受取手形及び売掛金、たな卸資産

負債の部 : 支払手形及び買掛金

純資産の部 : 利益剰余金

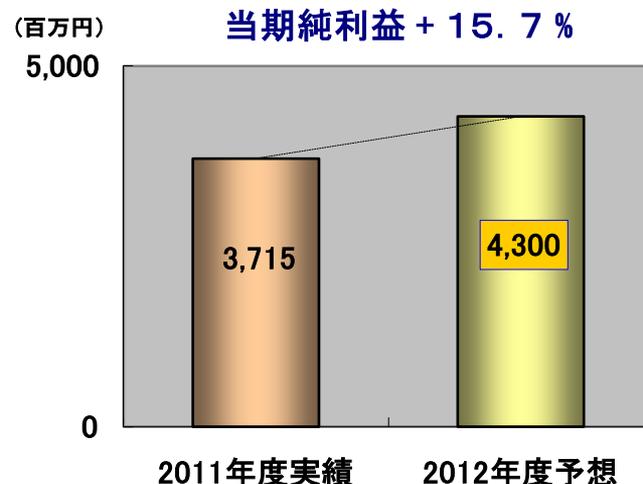
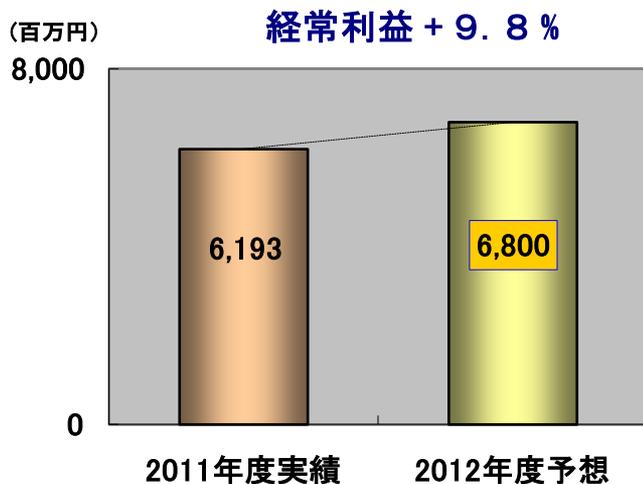
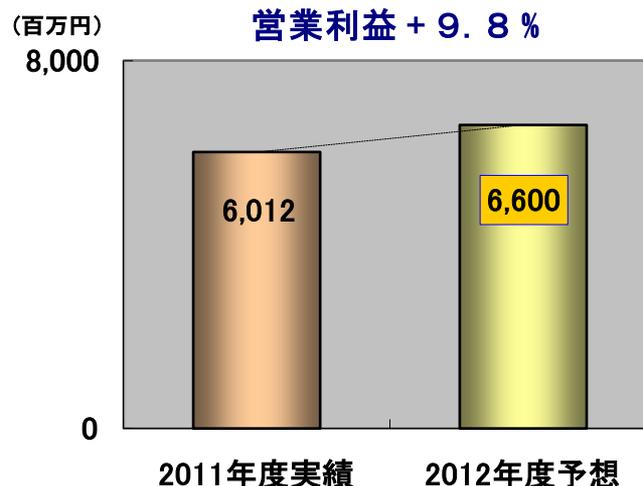
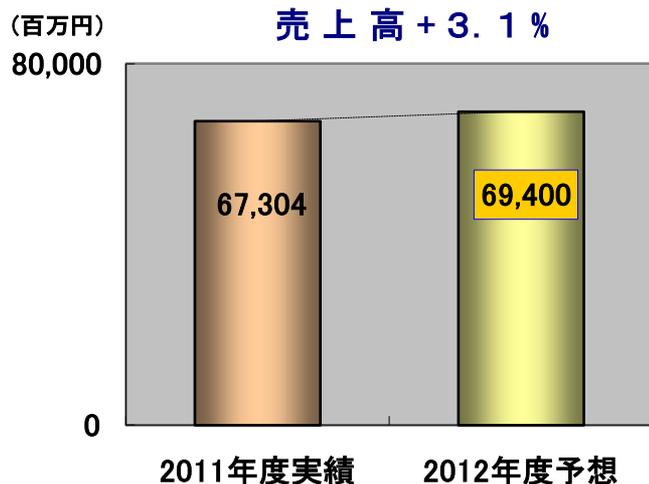
(減少)

現金及び預金
有形固定資産、投資その他の資産

賞与引当金



通期業績予想(連結)



研究開発品目の進捗状況



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2010	2011	2012	2013年度
NS-11 (アカンプロサートカルシウム) (導入)	新成分	アルコール依存症患者 における断酒維持の補助	申請中	PⅢ	申請	承認予定 ●	
NS-315 (トラマトール塩酸塩) (導入)	新効能	非がん性慢性疼痛	申請中	PⅢ	申請	承認予定 ●	
LY450190 (タダラフィル) (導入)	新効能	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	PⅢ	日本イライリー PⅢ			
NS-24 (トラマトール塩酸塩) (導入)	新剤型	がん疼痛 非がん性慢性疼痛	PⅢ	PⅠ	PⅢ		
ACT-064992 (マシテンタン) (導入)	新成分	肺動脈性肺高血圧症	PⅢ			PⅢ	
GA101 (obinutuzumab) (導入)	新成分	低悪性度・中高悪性度 非ホジキンリンパ腫	PⅢ		PⅢ		



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2010	2011	2012	2013年度
NS-304 (セレキシパグ) (自社)	新成分	肺動脈性 肺高血圧症	P II	P II	→		
		慢性血栓塞栓性 肺高血圧症	P II	→			P III 予定
NS-141 (自社)	新成分	皮膚疾患に伴う そう痒	P II	P II	→		



新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2010	2011	2012	2013年度
プルリロキサシ (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売準備中	柳韓洋行社			
			中国 PⅢ準備中	Lee's Pharma社			PⅢ 予定 
NS-304 (セレキシパグ) (自社)	新成分	肺動脈性 肺高血圧症	US/EU PⅢ	Actelion社 PⅢ			
NS-187 (パフェチニブ) (自社)	新成分	B細胞性慢性 リンパ性白血病	US PⅡ	CytRx社 PⅡ			
		慢性骨髄性白血病	US/EU PⅡ準備中				
NS-018 (自社)	新成分	骨髄線維症	US PⅠ/Ⅱ				



GA101 (obinutuzumab)

— 非ホジキンリンパ腫治療剤 —

開発段階: 海外 PⅢ試験(ロシュ社)

国内 PⅢ試験(国際共同試験)

開発形態: 2012/11、中外製薬から導入

国内は中外製薬と共同開発

作用機序: 抗CD20モノクローナル抗体

適応症: 低悪性度・中高悪性度非ホジキンリンパ腫

剤型: 注射剤(液剤)

特徴: ヒト化抗CD20モノクローナル抗体で、抗体依存性細胞傷害活性および直接的細胞死の誘導能を増強

将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。